

子宮頸がんゼロプロジェクト

**子宮頸がん征圧をめざす  
専門家会議**

Annual Report 2009

2010年1月発行

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議(以下本会議)は2008年11月に設立された。したがって、一年を通して本格的な活動が行われたのは2009年であり、この「Annual Report」は本会議の2009年の活動状況の概要の報告である。

本会議はこの一年極めて多岐に亘る活動を行ってきたが、なかでも、厚生労働大臣、厚生労働副大臣など政府に対する直接的な働きかけ、超党派議員連盟など国会への提言、メディアに対する情報提供などに力を注いできた。そして、その活動を広く4団体(本会議、子宮頸がんを考える市民の会、ティール&ホワイトリボンプロジェクト、日本対がん協会)の枠組みで行ったことも特筆すべきであろう。HPV予防ワクチンの正式承認もこのような幅広い活動の成果とみることができる。

目的とする子宮頸がん征圧は検診とワクチンの効率的併用によって、そのゴールがようやく見えてきた。2010年はこのゴールに向けて更に活発な活動を展開していきたい。

議長 野田起一郎

## CONTENTS

---

2009年度活動一覧	1
厚生労働省、自治体、議員、メディアへの情報提供	2
検診未体験者への検診喚起 検診とワクチンのリコメンデーション 啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供	4
若年女性・大学生への情報提供	5
シンポジウムなどによる一般市民への情報提供	6

## 2009年度活動一覧

日	項目	内容
2月4日	The World Cancer Day 世界対がんデー公開シンポジウム (東京大学本郷キャンパス大講堂)	世界対がんデーに「子宮頸がん征圧を目指して」と題した公開シンポジウムを国際対がん連合(UICC)と共催。 講演/実行委員:吉川裕之、実行委員長:今野良、委員:シャロン・ハンリー、平井康夫 シンポジスト/委員:河村裕美
2月5、25日	議員連盟勉強会で講演	自民党と公明党のワクチン予防議員連盟勉強会で講演 講演 5日/実行委員長:今野良、25日/実行委員:神谷齊
4月1日	子宮頸がん啓発を推進する4団体による共同記者会見 (厚生労働省内9階会見室)	子宮頸がん征圧をめざす専門家会議、NPO法人子宮頸がんを考える市民の会、社団法人ティール&ホワイトリボンプロジェクト、財団法人日本対がん協会が、4月9日「子宮の日」に向けて共同メッセージを発表した。議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明、委員:河村裕美、小西宏
6月7日	子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 HPVセミナー	HPV研究および子宮頸がん予防の世界的権威ザビエル・ボッシュ博士の講演を開催。 司会/実行委員長:今野良 座長/実行委員:吉川裕之
7月2日	厚生労働大臣に、検診とワクチンに関する要望書提出	“子宮頸がん”啓発を推進する4団体が連名で要望書を舛添厚生労働大臣へ提出し、懇談。議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、委員:河村裕美、小西宏
7月9日	無料クーポン券・検診手帳に関する要望書を厚生労働副大臣に提出	今年度予算で進められている検診無料クーポン・検診手帳に関する要望書を渡辺副大臣に提出。クーポンの継続化、検診手帳の情報整備について提言を行った。 議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:今村定臣
8月6日	記者懇談会	医療関係記者の取材を受け、子宮頸がん検診に関する最新の動きについて語った。 実行委員:鈴木光明
8月～	女子大生啓発のためのトイレポスター掲示	女子大生啓発のため、大学構内トイレにポスター掲示。実践女子大学、実践女子短期大学、芝浦工業大学、東京家政学院大学、大妻女子大学、成城大学、大正大学、独協医科大学 他
8月	厚生労働省「平成21年度 女性特有のがん検診推進事業」についてのアンケート	全国1,798自治体対象に、検診対象者向け無料クーポン券の配布実態、利用促進のための自治体の工夫内容などを明らかにするための調査を実施した。
9月9日	緊急ワークショップ「“女性のがん検診無料クーポン”の有効利用」開催 (東京ステーションコンファレンス)	自治体アンケート調査結果ならびに日本産婦人科医学会の対策、国内外の取り組みを紹介する緊急ワークショップを開催、100名以上が出席した。議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明、委員:岩成治、シャロン・ハンリー
10月16日	子宮頸がん予防ワクチン承認を受け、4団体緊急共同記者会見	10月16日(金)のHPVワクチン正式承認を受けて、“子宮頸がん”啓発推進4団体が緊急共同記者会見を開催し、声明を発表した。約30名の記者が参加。 実行委員長:今野良、委員:河村裕美、小西宏
11月1日～	一般女性向け携帯サイト	若い女性に子宮頸がんに関する基礎知識を提供。 <a href="http://www.cczeropro.jp/m">http://www.cczeropro.jp/m</a>
11月15日	子宮頸がん予防のためのプロフェッショナルワークショップ	自治体、保健医療従事者などのための子宮頸がんの勉強会。 議長:野田起一郎、実行委員長:今野良、実行委員:今村定臣、鈴木光明、吉川裕之、委員:岩成治、小澤信義、シャロン・ハンリー、中山裕樹
11月22日	子宮頸がん啓発のための市民公開講座	一般向け市民公開講座を、日本産科婦人科学会・日本小児科学会と共催。2010年2月13日京都でも開催。挨拶/議長:野田起一郎、委員:横田俊平、座長/実行委員:小西郁生、委員:野々山恵章、講演/実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明、吉川裕之、委員:岡部信彦
12月	一般女性向けウェブページ	若い女性に子宮頸がんに関する基礎知識を提供。
12月	医療者向け共用スライドの作成	子宮頸がんについての情報を整理し、最新かつ高度な情報を共有するためのスライドを作成、ゼロプロサイトで提供予定。
12月	一般向け街頭CM制作・放映 (12月21日～29日・アルタビジョン)	30秒の一般向け啓発CMを制作し、街を歩く人の約8割が見る「大型街頭ビジョン」でオンエア(新宿東口、渋谷、六本木、銀座4丁目、立川、宇都宮 計6カ所)。
12月	議員、行政担当者向け「子宮頸がんを知る」DVDの作成	ダイジェスト版、HPV検査2つの内容を1枚のDVDに納め、2010年2月より国会議員等へ配布予定。
12月	一般向け女性啓発冊子制作	三井住友海上きらめき生命とタイアップして、20代、30代女性を中心に冊子制作。2010年1月より配布。(100,000部)
12月	鳩山総理大臣、長妻厚生労働大臣、川端文科大臣等への提言準備	無料クーポン券の次年度への継続や、検診受診率向上とワクチン公費負担など提言を、“子宮頸がん”啓発推進4団体と共同で準備。

その他、サイトによる情報提供、講師派遣、取材協力、企業・団体等との共同啓発活動など。

## 厚生労働省、自治体、議員、メディアへの情報提供

行政、議員、メディアに向けての提言・情報提供を活発に行い、ワクチン承認に大きく寄与したと思われる。専門家向けのセミナーも開催し、子宮頸がん分野での当会の認知が高まった。また、啓発4団体での連携がはかれたことも、2009年度の成果であった。

### 1. 提言活動

#### ワクチン予防議員連盟勉強会で講演

2月5日、25日、自民党と公明党のワクチン予防議員連盟勉強会で当会実行委員が講演。これを受けて、3月11日衆議院の厚生労働委員会で古屋範子議員(公明党)が勉強会の資料をもとに国会質問、3月31日ワクチン予防議員連盟がワクチンの早期承認などを求め、舛添要一厚労相に提言書を提出。

その他、国会議員、地方議会議員への情報提供などを多数おこなった。

活動委員・・・2月5日/実行委員長:今野 良、25日/実行委員:神谷 齊

#### 子宮頸がん”啓発を推進する4団体による共同記者会見

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議、NPO法人子宮頸がんを考える市民の会、社団法人ティール&ホワイトリボンプロジェクト、財団法人日本対がん協会が、4月9日「子宮の日」に向けて共同メッセージを発表した。

4月1日(水)16:15～16:45、厚生労働省内9階会見室

活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:鈴木光明、委員:河村裕美、小西 宏



#### 厚生労働大臣に、検診とワクチンに関する要望書提出

子宮頸がん”啓発を推進する4団体が連名で、「子宮頸がん検診の検診率向上と子宮頸がん予防ワクチンの早期承認ならびに費用負担軽減策に関する要望書」を舛添厚生労働大臣へ提出し、懇談を行った。

7月2日(木)11:00～11:15、厚生労働省 大臣室

活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野 良、委員:河村裕美、小西 宏



写真提供:社会保険実務研究

#### 無料クーポン券・検診手帳に関する要望書を厚生労働副大臣に提出

今年度予算で進められている検診無料クーポン・検診手帳に関する要望書を渡辺副大臣に提出。クーポンの継続化、検診手帳の情報整備について提言を行った。

7月9日(木)

活動委員・・・議長:野田起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:今村定臣

#### 子宮頸がん予防ワクチン承認を受けた4団体緊急共同記者会見

10月16日(金)のHPVワクチン正式承認を受けて、“子宮頸がん”啓発推進4団体が緊急共同記者会見を開催し、声明を発表した。約30名の記者が参加。

10月16日(金)、厚生労働省内9階会見室

活動委員・・・実行委員長:今野 良、委員:河村裕美、小西 宏



#### 鳩山総理大臣、長妻厚生労働大臣等への提言準備

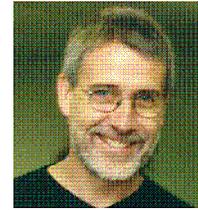
無料クーポン券の次年度への継続、検診受診率向上とワクチン公費負担など、新政権に提言する準備活動を実施。

## 2. セミナー

### 子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 HPVセミナー

HPV研究および子宮頸がん予防の世界的権威ザビエル・ボッシュ博士の来日にあわせ講演会を開催し、産婦人科医、女性医療に携わる内科医、メディア、医療関係企業の方々など約50名が出席した。

6月7日(日)10:00～12:00、ロイヤルパークホテル(東京都中央区)  
活動委員…司会/実行委員長:今野 良、座長/実行委員:吉川裕之



ザビエル・ボッシュ博士

### 緊急ワークショップ「女性のがん検診無料クーポン」の有効利用」開催

8月に実施した全国1798自治体対象のアンケート調査結果ならびに日本産婦人科医会の対策、国内外の取り組みを紹介する緊急ワークショップを開催、100名以上が出席した。

9月9日(水)18:30～20:45、  
東京ステーションコンファレンス(東京都千代田区)  
活動委員…議長:野田起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:  
鈴木光明、委員:岩成 治、シャロン・ハンリー



### 子宮頸がん予防のためのプロフェッショナルワークショップ

海外で活躍する子宮頸がん予防の専門家、Dr.Hai-Rim Shin(WHO / International Agency for Research on Cancer)、Dr. Jeffrey H.J. Tan (Royal Women's Hospital, Melbourne)を招き、自治体、保健医療従事者などのためにワークショップを開催した。子宮頸がん予防を実践する上で、政策提言、計画立案、ワクチンおよび検診の実施、現場での教育において欠くことのできない最重要項目を1日のプログラムで身につけ、スモールグループミーティングで掘り下げた。

11月15日(日)9時～16時30分  
京王プラザホテル(東京都新宿区)  
活動委員…議長:野田起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:  
今村定臣、小西郁生、鈴木光明、吉川裕之、委員:岩成 治、小澤信義、シャロン・ハンリー、中山裕樹



## 3. 取材、他

### 記者懇談会

医療関係記者の取材を受け、子宮頸がん検診に関する最新の動きについて語った。

8月6日(木)10:30～11:30  
活動委員…実行委員:鈴木光明

### 議員、行政担当者向け「子宮頸がんを知る」DVDの作成

ダイジェスト版、HPV検査2つの内容を1枚のDVDに納め、2010年2月より国会議員等へ配布予定。

## 検診未体験者への検診喚起

### 厚生労働省「平成21年度 女性特有のがん検診推進事業」についてのアンケート

国の平成21年度補正予算による緊急経済危機対策の一環として「女性特有のがん検診に対する支援事業」が始められ、「検診無料クーポン」が配布された。

当会では、自治体における検診対象者向け無料クーポン券の配布実態、利用促進のための自治体の工夫内容などを明らかにするための調査を実施した。調査結果をメディアや自治体に広く報告し、無料検診クーポンの有効利用、受診率向上のために、関連する方々の参考資料としての活用を促した。

調査名：厚生労働省「平成21年度 女性特有のがん検診推進事業」についてのアンケート

調査時期：2009年8月

調査対象：全国1,798自治体

調査方法：郵送調査・自記入式、返信はFAX

回収状況：有効回収数 923票 (有効回収率 51.3%)

## 検診とワクチンのリコメンデーション

### 検診とワクチンのリコメンデーション

検診とワクチンのリコメンデーションの提示のために、日本国内調査研究、海外情報収集をおこなっている。10月16日、ワクチン承認に合わせ、ワクチンのリコメンデーションをメディア向けに配布した。

## 啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供

### 医療者向け共用スライドの作成・サイトでの提供

子宮頸がんについての情報を整理し、最新かつ高度な情報を共有するためのスライドを作成。医療者に講演などに使用してもらう。

### ウェブサイトでの情報提供

子宮頸がんに関する最新情報を掲載。セミナーの様子は、参加できなかった方々にも見られるように、ビデオ配信中。子宮頸がんに関する確かな情報入手と、認知され始めた。

The screenshot shows the website for the '子宮頸がんゼロプロジェクト' (CCZero Project). The main header reads '子宮頸がん征圧をめざす 専門家会議 子宮頸がんゼロプロジェクト'. Below the header, there is a section titled '緊急ワークショップ 開催レポート' (Emergency Workshop Report) dated 2009年9月16日 (September 16, 2009), featuring a photo of several people. To the right, there is a 'お知らせ' (News) section with several items, including '子宮頸がん検診無料クーポンの有効利用' (Effective use of cervical cancer screening free coupons) and '子宮頸がん検診無料クーポンの有効利用' (Effective use of cervical cancer screening free coupons).

## 若年女性・大学生への情報提供

25歳以下の子宮頸がん検診受診率は3～4%。子宮頸がんの認知も低く、婦人科受診経験も少ない。今年度厚生労働省は、若い世代の検診受診率アップをめざし20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性たちへ検診無料クーポンを配布した。当会では、女性たちが生涯にわたって子宮頸がんから身を守れるようになることを目指して、女子大学生や20～30代女性に向けての啓発活動をさまざまなルートで展開している。

### 女子大生啓発のため、大学構内トイレにポスター掲示(8月～11月)

学生向け無料コピーサービス「タダコピ」を運営する企業オーシャニイズや大学側の積極的な協力の下、キャンパス内の女子化粧室において子宮頸がんの啓発ポスターを掲示し、検診受診をよびかける。女性特有のトラブルの情報を大学生が受け入れやすい形で提供するために、化粧室個室内というプライベートな空間を利用した。都内の大学を中心に、夏から秋にかけて実施した。

8月～11月

実践女子大学、実践女子短期大学、芝浦工業大学、東京家政学院大学、大妻女子大学、成城大学、大正大学、独協医科大学 他



### 一般女性向け携帯サイト/ウェブサイト「子宮頸がん講座」制作・提供

若い女性に子宮頸がんに関する基礎知識を提供するため「子宮頸がん講座」を携帯とウェブで展開。

携帯サイト: 11月1日～ <http://www.cczeropro.jp/m>

ウェブサイト: 2010年1月アップ ゼロプロサイト内



### 生保会社とタイアップ

三井住友海上きらめき生命とタイアップして、20代、30代女性を対象とした冊子を作成、配布。

12月作成、2010年1月より配布。



### 一般向け街頭CM制作、放映

街を歩く人の約8割が見る「大型街頭ビジョン」で啓発CMオンエア。

12月21日～29日

新宿東口、渋谷、六本木、銀座4丁目、立川、宇都宮 計6カ所



## シンポジウムなどによる一般市民への情報提供

一般市民の啓発のために、専門情報をわかりやすく開設する公開講座を他団体と連携して主催・共催。

### The World Cancer Day 世界対がんデー公開シンポジウム

世界対がんデーに「子宮頸がん征圧を目指して」と題した公開シンポジウムを国際対がん連合(UICC)と共催。

2月4日(水) 東京大学本郷キャンパス大講堂

活動委員・・・講演/実行委員:吉川裕之、実行委員長:今野良、委員:シャロン・ハンリー、平井康夫  
シンポジスト/委員:河村裕美



### 子宮頸がん啓発のための市民公開講座

子宮頸がん征圧において社会的に重要な使命を担っている3団体～社団法人日本産科婦人科学会、社団法人日本小児科学会、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議～が市民公開講座を開催。

11月22日(日)14:00～16:00

女性と仕事の未来館(東京・田町)

活動委員・・・挨拶/議長:野田起一郎、委員:横田俊平

座長/実行委員:小西郁生、委員:野々山恵章

講演/実行委員長:今野良、実行委員:鈴木光明、吉川裕之、委員:岡部信彦

